

北海道浮魚ニュース

平成 24(2012)年度 14 号

2012 年 8 月 29 日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki_index.htm

◎道東太平洋スルメイカ資源調査結果

- ・分布密度は前年より低い。
- ・魚体は前年よりやや小型。

- ・調査期間 : 2012 年 8 月 20~28 日
- ・調査海域 : 道東太平洋沿岸
- ・調査船 : 北辰丸 (釧路水産試験場)
- ・調査方法 : イカ釣機 6 台を用いた約 3 時間半の夜間操業

1. スルメイカの分布密度

スルメイカは道東太平洋の 10 調査点すべてで漁獲され、十勝沖から根室沖までの広い海域に分布していました(図 1)。各調査点のスルメイカの分布密度(イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数)は 0.5~23.2 で、大津沖の 1 調査点で 23.2 と高くなっていました。全調査点の平均分布密度は 7.6 で、前年(12.0)を下回り、2000 年以降の平均値(7.6)並みでした(図 2, 表 1)。

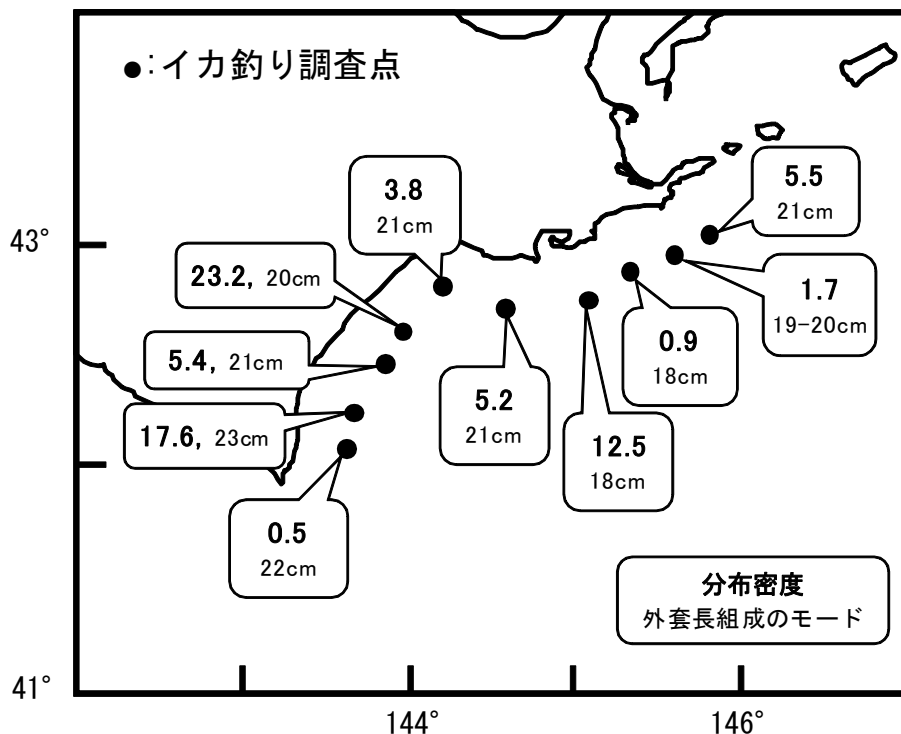


図 1 2012 年 8 月の道東太平洋におけるスルメイカの分布密度と外套長組成のモード

※分布密度は CPUE (イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) で示した。
※モードとは最も多く漁獲されたイカの大きさ。

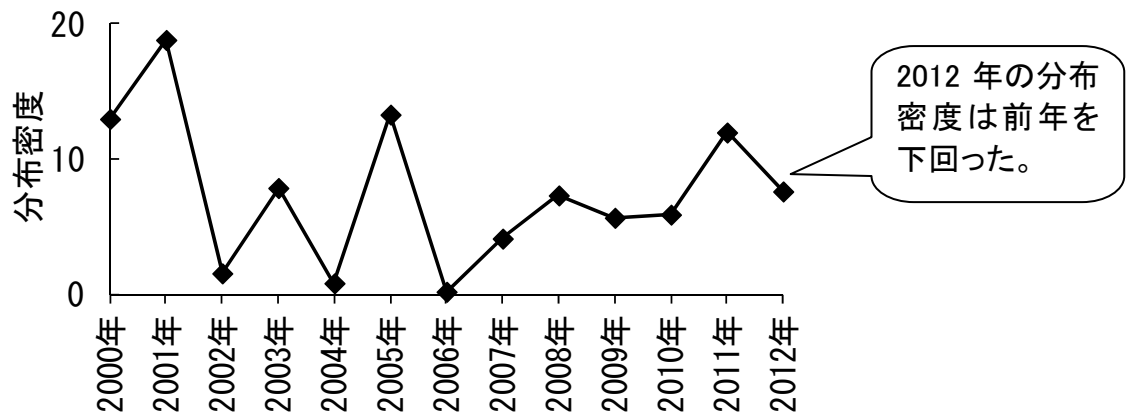


図2 8月の道東太平洋におけるスルメイカの平均分布密度

2. スルメイカの大きさ

全調査点での外套長(胴長)の組成のモードは20cmで、前年(21cm)よりやや小型でした(図3, 表1)。各調査点の外套長組成のモードは、18~23cmに見られました(図1)。

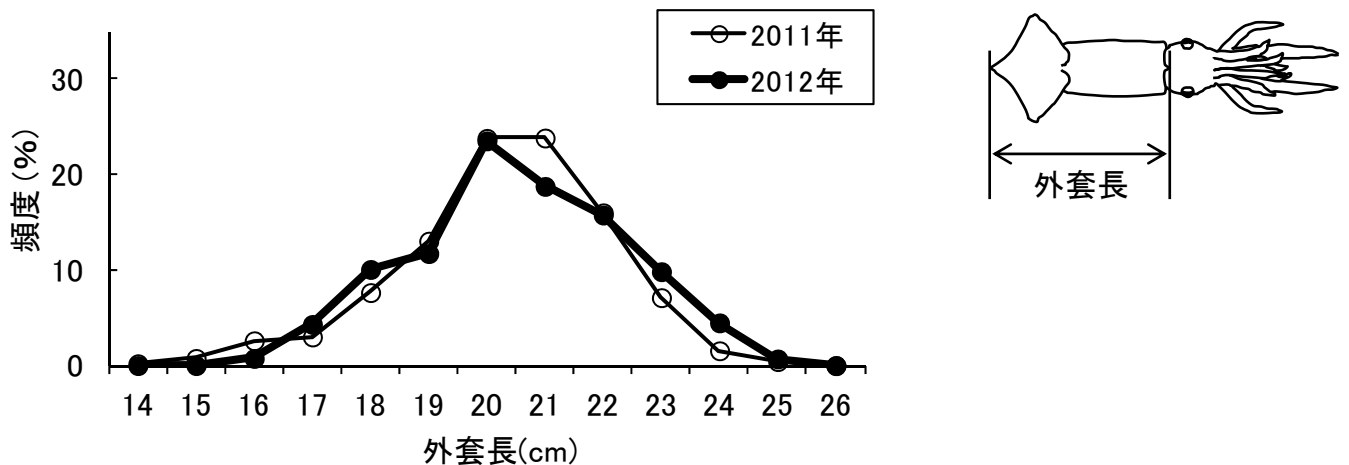


図3 8月に道東太平洋で漁獲されたスルメイカの外套長組成

表1 2008~2012年のスルメイカ調査結果

調査日程	漁獲尾数	平均CPUE	外套長		調査点数
			範囲(cm)	モード(cm)	
2008年 8/25~29	1,197	7.35	13-23	19	8
2009年 8/18~23	418	5.70	15-24	20	10
2010年 8/17~26	1,212	5.93	16-23	19	10
2011年 8/16~25	2,190	12.00	14-26	21	10
2012年 8/20~28	996	7.64	16-25	20	10

3. 表面水温

道東太平洋10調査点の表面水温は14.1~19.2℃, 平均16.9℃と、前年(12.8~16.8℃, 平均14.9℃)より高くなっていました。

○本調査結果と他の研究機関の調査結果をもとにして、第2次スルメイカ漁況予報が9月下旬に発表されます。

(文責: 釧路水産試験場調査研究部, TEL:0154-23-6222, FAX:0154-23-6225)